【７月後半改訂、８月流し原稿例】　　２１年７月２６日　　　　　　　　党大阪府政策宣伝センター

（＊挨拶は、地域の挨拶、季節の挨拶など工夫して適時入れてください）

●みなさんこんにちは。日本共産党です。猛暑が続いています。熱中症などに気をつけて、お過ごしください。

●こんにちは、日本共産党です。コロナ感染がおさまりません。くらしや営業などで、お困り事はありませんか。お気軽に日本共産党●●●●(事務所)にご相談ください。

■政府は、お酒の提供をやめない飲食店には、「金を貸すな、酒を売るな」と圧力をかけようとしました。

法律を踏み越えた横暴です。日本共産党は、「規制に見合った補償こそ必要」と主張しています。

■コロナ感染症を押さえ込むには、ワクチン接種を進め、大規模検査で早期発見、隔離が必要です。暮らしと営業への十分な保証と支援も必要です。

日本共産党は、持続化給付金の第二弾、生活に困っている方に十万円の給付金を求めています。

■オリンピックは始まりましたが、国内の感染拡大は危険な状態になっています。アスリートなど五輪関係者の感染も増えています。

日本共産党は、「五輪よりいのちが大切」の立場で、中止の決断を求め続けます。あらゆる力を、コロナ対策に集中するよう求めます。

■世論調査で、政府のコロナ対応を「評価しない」人が６５％にもなりました。内閣支持率も過去最低となりました。

「こんな政権に、この国をまかせていいのか」という皆さんの声がひろがっています。日本共産党は、野党の共闘で総選挙勝利、新しい政治を切り開くためにがんばります。

■４月の３つの国政選挙につづき、東京都議選挙でも市民と野党の共闘で、定数１人区、２人区を含む１３の選挙区で勝利しました。

 日本共産党は、菅政権にかわる、野党連合政権の実現めざして、さらに力を尽くします。

■日本共産党は７月に創立９９周年を迎えました。どんな困難な時代にも反戦平和、民主主義のためにたたかってきました。約１００年の歴史で、国民を裏切ることがなかったから、名前を変えずに活動できます。

日本共産党は、格差をただし医療、介護に手厚い社会を、ジェンダー平等社会の実現、地球規模の環境破壊ストップに全力で取り組みます。

■ヒロシマ、ナガサキの原爆投下から７６年目の夏を迎えます。人類と未来のために、核兵器の全面禁止をもとめる、原水爆禁止の世界大会も開かれます。

被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界をめざしましょう。

■核兵器禁止条約が発効して、世界は核兵器廃絶に大きな一歩を踏み出しました。しかし菅政権は核兵器禁止条約に参加していません。

日本共産党は、日本政府に核兵器の開発、保有、使用を全面禁止する核兵器禁止条約の批准を求めます。

■安保法制＝戦争法の強行、政権トップが国会で嘘や忖度をまかりとおらせた「モリ、カケ」事件。コロナ対応での右往左往など、安倍、菅自・公政権に変わる、新しい政治を作りましょう。

■男女平等度を示す「ジェンダーギャップ指数」が、日本は世界で最低クラスです。総選挙で政治を変えて、「男女差別なく働き続けられる職場を」「夫婦別姓を選びたい」「性暴力やハラスメントのない社会に」という願いを実現しましょう。

■維新府政の大阪では、重症になっても入院できないなど、深刻になりました。保健所は、この２０年で半分以下に減らされました。

大阪の医療、保健体制の抜本強化を求めましょう。

■コロナの問題は、命と暮らしを守る政治の大切さを浮き彫りにしました。

日本共産党は野党が一本化して、菅政権にかわる新しい政治をつくる野党連合政権の実現めざして全力を尽くしています。大きなご支援をお願いします。

■海外では、消費税を減税し、景気回復をはかっています。日本共産党とご一緒に、消費税５％の引き下げを実現しましょう。暮らしと営業を応援する政治にきりかえましょう。

■大学の学費ゼロが世界の流れです。日本共産党は、学費を半分に減らし、返済のいらない奨学金の実現をめざします。

■中国の、ウイグル・香港での人権侵害、力づくでの領土拡張に、日本共産党は厳しく抗議しています。「中国は国際法を守れ」の声を広げ、平和なアジアと世界をつくりましょう。

■日本共産党が発行する「しんぶん赤旗」をお読みください。毎日お届けする日刊紙は３４９７円、週刊の日曜版は９３０円です。おつとめの方には、電子版もおすすめです。大阪のことがよくわかる週刊紙、「大阪民主新報」もお読みください。